

日本の海岸線を歩く会 行動報告書

報告者 横山泰一

1. 概要

地域分類	近畿（串本～南紀白浜）
歩行区間	スタート地点： 串本駅
	ゴール地点： 南紀白浜白良浜海水浴場
実施期間	2015年3月10日～16日
全歩行距離	約103km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1		住山 茂	69	5	12期
2		甲田 征三	70	3	12期
3		甲田 みつえ		3	甲田夫人
4	リーダー・記録	横山 泰一	69	6	13期
5					

3. 歩行の概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	3月10日	串本駅～串本大橋	約7km	横山	
2	3月11日	串本大橋～潮岬	約6km	甲田夫妻、住山、横山	
3	3月12日	潮岬～和深	約21km	〃	
4	3月13日	和深～周参見	約23km	〃	
5	3月14日	周参見～椿	約24km	住山、横山	
6	3月15日	椿～白良浜海水浴場	約21km	住山、横山	
7	3月16日	白浜から帰宅	—	—	

4. 参加費、費用概算

(1) 参加費合計	1,700円	参加者延べ日数	17日
(2) 概算費用 合計	91,600円	内訳	交通費 23,800円
(横山の場合)		宿泊費ほか	51,800円
		食料・飲料ほか	16,000円

5. 歩行の詳細

5.1 計画段階

今回の歩行は先輩10期の高木さんにお会いするという大きな目標もあり、少し観光も取り入れて計画した。観光地と宿泊場所については高木さんから詳しい情報をいただき、紀伊大島から潮岬、枯木灘のリアスの海岸線・ジオパーク（科学的、文化的に貴重な地質遺産を含む自然公園）、温泉、熊野古道、食と文化（無量寺の応挙・芦雪の絵）を楽しむコースを設定した。

5. 2 歩行の状況

3月10日(火)

ひかり461号(品川7時10分横山、新横浜7時22分甲田夫妻)に乗車、新大阪で紀勢本線に乗り換え串本へ。爆弾低気圧が北海道沖で発達したため冬型が強まり、途中の関ヶ原や和歌山駅あたりでは雪がちらついていた。

14:11 串本駅到着

晴れてはいるが風が強くと季節外れの寒さで歩行が厳しいことを予想させた。横山はここから串本大橋まで歩き、甲田夫妻は橋杭岩を見物し、後続の列車で到着する住山とバスで紀伊大島の民宿へ向かうことにした。

14:25 串本駅出発

国道42号線から県道41号線に入り、左に養魚場の筏を眺めながら歩いた。円形の筏はマグロが回遊できるようにできている。

15:20 串本大橋への分岐

串本大橋では風が強くと、細心の注意を払いながら歩いた。

15:30 串本大橋

ここからバスで大島港へ向かい、民宿へ。

15:49 大島港着

16:00 民宿紀の島到着

宿で高木さんがセットしてくださった紀伊民報の取材を受けた。

17時過ぎに甲田夫妻と住山が到着した。



串本駅にて



養魚場の筏



串本大橋

3月11日(水)

快晴、風強い。午前中は大島観光。大島港からバスで檜野崎灯台口へ。トルコ軍艦遭難慰霊碑、日本最古の石造り灯台と旧官舎、海金剛などを観光した。

12:53 檜野バス停から乗車

13:15 串本大橋から県道41号線へ出たところでバスを下車

13:18 水門まつりで昼食

14:00 歩行開始

県道41号線を歩く。出雲付近で紀伊民報記者が歩行中の写真を撮影。明日の紀伊民報(夕刊紙)に掲載するとのことであった。楽しみ。

15:00 渡船浜中

釣り客が成果を点検していたので見物。

15:45 岬ロッジ到着

本日宿泊する民宿に荷物を置き、潮岬灯台を見物。

16:50 岬ロッジへ戻る



出発前民宿紀の島にて



檜野崎灯台



説明員(左)から旧官舎の話聞く



トルコ軍艦が座礁した船甲羅



海金剛(右端に檜野崎灯台)



渡船の店前で釣果を確認する釣人

3月12日(木)

快晴、風やや強い。

8:30 岬ロッジ出発

潮岬を一周する県道を歩いた。ところどころ断崖の上から海岸線が見られた。岩礁に砕ける白波の向こうに潮岬灯台が望める絶景が続いた。やがて潮岬を一周する高台から串本が一望できるところを通った。ここからは潮岬が陸繋島であることがはっきりとわかる。海岸と島を結ぶ砂州が成長し陸続きとなった。

10:10 無量寺

応挙芦雪館を見学。国の重要文化財である円山応挙筆の山水画・波上群仙図、長沢芦雪筆の龍虎図・唐子遊図・群鶴図などを鑑賞した。1707年の大津波で流失したお寺を現在の地に再建する際(1786年)本山から派遣された僧愚海が親交の厚かった応挙に障壁画の作成を依頼し、応挙が芦雪に託して寺に贈った。寺に滞在した芦雪が多くの名作を残した。これらの襖絵等は寺に伝わる宝物として地域の人々の全面的な協力により維持されている。文化財を保護する事の苦労が強く感じられた。

10:50 出発

国道42号線を歩く。

12:00 海中公園(昼食)

13:00 出発

なるべく国道を避け、旧道や熊野古道・大辺路を歩く。山の斜面に山桜やツツジが咲いていた。

14:10 田並

ここからは海岸線の国道を歩いた。双島などの枯木灘の絶景ポイントが続く。

16:20 和深 お宿えびす着

紀伊民報を読みたかったが、この宿では購読していないとのこと。残念。



出発前の記念写真



潮岬灯台を望む



陸繋砂州(幅500m)の向こうに橋杭岩を望む。



無量寺を観光



大辺路をたどりながら



古道の状況

3月13日(金)

快晴。体調を考慮して熊野古道長井坂をあきらめ国道沿いを歩くことにした。

8:45 出発

10:00 星野付近

歩行しているとバイクの男性が待ち構えていた。近づくと昨日の紀伊民報(夕刊紙)を渡してくださった。わざわざ切り抜いて届けてくださったもので、予期していなかったことに署名をいただくことや写真撮影も忘れていた。昨日の新聞を読んでいる人から手を振られることくらいは期待していたのだが。

11:00 江住

12:00 江須崎

すさみ八景の一つ。宿で作ってもらったおにぎりで昼食。

12:40 出発

12:45 童謡の国

13:20 見老津駅

ここから甲田夫妻が父親の病気の連絡を受け急きよ帰宅することとなり歩行から離脱した。国道はダンプカーがすごい勢いで通過してゆく。歩道ないため怖い。高速道路の建設のためらしい。沖の黒島・陸の黒島と呼ばれる景勝地を過ぎる。

14:20 高浜海岸千畳敷

14:30 道の駅

16:07 周参見駅

宿の車に迎えにきてもらい宿へ。

16:30 リヴァージュひきがわ着

この宿は高木さんお勧めの宿で、キャンセル待ちして1週間前にやっと予約がとれた。露天風呂からの眺めがすばらしく、泉質は弱アルカリ性の美人の湯。



出発前の記念写真



枯木灘を見ながらの歩行



国道はダンプカーの通行が多く苦勞した。



江須崎近くを歩く。



高浜海岸千畳敷

3月14日(土)

曇り。

8:30 宿の車で周参見駅へ。

8:50 周参見駅から歩行開始

今日もなるべく国道を避けて海沿いの旧道を歩いた。枯木灘の絶景を見ながらの歩行となった。すさみ八景の一つ。断崖の延長に岩礁があり、その上に釣り人がいる。土曜日のせいか、人が多い。渡船で運んでもらったのだから船は見えない。

10:23 伊古木海岸

天気が晴れてきた。

11:45 道の駅 昼食

食堂の従業員が新聞を見たと言ってくれた。

12:20 出発

12:30 昨夜宿泊したリヴァージュひきがわを通過。その先から県道白浜日置川自転車道に行く。笠浦からは国道と旧道を交互に歩いた。自転車道はかつては整備されていたようだが、旧道と同様に国道で分断されている。

15:10 椿温泉 民宿ひらみ到着

椿温泉も弱アルカリ性の美人の湯。肌がつるつるになりました。



周参見駅出発風景



潮来橋付近の枯木灘の絶景



岩の上には渡船で運ばれた釣り人がいる。



志原海岸道の駅



志原海岸



伊勢ヶ谷の猿橋

3月15日(日)

曇りのち雨

8:30 民宿ひらみ出発

道の駅に寄ったが温泉施設のみであった。国道を歩く。すぐ雨になった。

10:35 富田橋手前

高木さんと再会。

12:45 三段壁 昼食

食堂の壁には一面魚拓が掲げられている。釣り人が寄贈したものか。渡船営業のPRのため掲げているのかは不明。

13:20 出発

13:50 千畳敷

14:30 白良浜海水浴場 歩行終了



民宿前で



卒業以来の再会を果たす。



三段壁の絶景



千畳敷



白良浜海水浴場

3月16日(月)

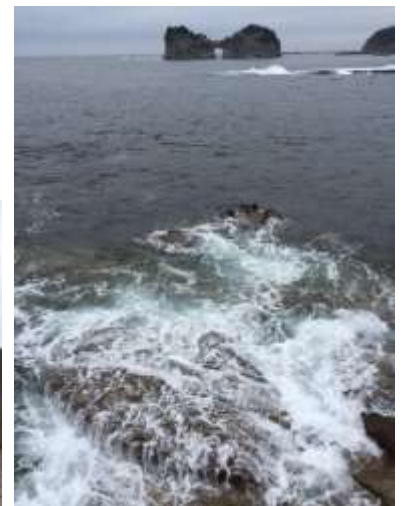
朝、紀伊民報の取材を再度受けた。歩行終了後の感想を聞かれた。その後、住山は早めの電車で帰り、横山は白浜の街を散策した。昨日は雨のために素通りした崎の湯の露天風呂に入り、波しぶきが飛んできそうなほど近くから豪快な熊野灘を眺めた。その後、円月島まで足を延ばし、丸く開いた岩窓に太陽が沈む季節に今度は来てみたいと思いながら白浜をあとにした。



美浜荘の前にて



崎の湯



円月島

5.3 グルメ情報

伊勢海老の味覚祭りは2月末で終了してしまい、3月からはケンケンかつお味覚祭りとPRしているが、カツオにはまだ少し早すぎたようだ。ケンケンかつお漁とは船を走らせて疑似餌をおどらせ、魚を誘惑して釣り上げる漁法。釣り上げた魚はその場で直ちに生き締め・血抜きされるため、一本釣りのカツオ漁より新鮮でおいしいという。すさみが発祥の地で、食べてみたかった。

紀州といえば梅干し。どこの宿泊施設でも大きな南高梅の梅干しが出てきた。甘くて香りが強く、そのまままるまる一つをぺろっと食べられた。

本場のマグロ料理を食べたくて民宿お宿えびすの創作マグロ料理コースを注文した。工夫をこらした料理に満足した。



中央が前菜、左上マグロのつみれ、右上マグロカマ肉の竜田揚げ、左手前マグロの刺身(近大の養殖マグロなど)、右手前マグロつみれあんかけ

クエ鍋

九絵料理専門店でクエ鍋を食べた。最近では天然ものが少なく、ほとんどは養殖もののようだが、この店は天然ものを扱っているとのこと。味は淡泊だが脂がのって美味しかった。クエの皮を焼いてお酒に入れた皮酒もいただいた。フグのヒレ酒と同じように香ばしい香りと味は絶品であった。



紀州本クエ料理の店前にて



高木さんを囲んで打ち上げ会



クエ鍋の材料



クエの皮酒

5. 4 宿泊施設に関する情報

利用日	2015.3.10	3.11	3.12	3.13	3.14	3.15
住所	紀伊大島港	潮岬	和深	白浜町日置	白浜町椿	白浜町 1564
宿の種類	民宿	民宿	民宿	ホテル	民宿	公共の宿
宿の名称	紀の島	岬ロッジ	お宿えびす	リヴァージュひきがわ	ひらみ	美浜荘
連絡先	0735-65-0673	0735-62-1474	0735-62-0215	0739-52-2370	0739-46-0828	0739-42-3383

料金	6,500 円	8,800 円	10,500 円 特別料理	8,000 円	7,270 円	5,900 円(夕食 なし)
特記事項	和式トイレ お酒サービス	本州最南端の 宿	生マグロ創作 料理コース	立寄り湯併設 送迎あり 温泉は充実	風呂場は広い 美肌の湯は抜 群	送迎あり
宿泊者	甲田夫妻、住 山、横山	甲田夫妻、住 山、横山	甲田夫妻、住 山、横山	住山、横山	住山、横山	住山、横山

6. 感想

高木さんから宿泊と観光に関する情報をいただき、安全に楽しく歩行できました。打ち上げ会場の選定・予約もしていただき、美味しい幻の高級魚クエを賞味することができました。先輩を訪ねるとい初めての企画は大成功だったと思います。甲田夫妻が途中で離脱しなければならなかったことは残念でしたが天候にも恵まれほぼ予定通りの歩行と観光ができたことは良かったです。

紀伊民報の取材を受け、記事が掲載された。わざわざ記事を届けてくださった方や見たよと声をかけてくださった方もいて新聞の効果を感じた。コミュニケーションの手段としては良かった。(横山)

近畿圏からの釣り客が数多く見受けられたが、その殆どが車で来て日帰りするようで、週末でも宿泊施設に人が少なかったことが気になった。

素晴らしい磯の風景が見られるので、観光客を呼び込む工夫が必要かな？と。(住山)

予期せぬ出来事で途中から歩行を中断せざるを得なかった事が残念である。

併せて最大の楽しみであったクエ鍋で日本酒を楽しめなかった事も痛恨の極みである。

以前に歩いた西伊豆、渥美半島、知多半島と趣が大きく異なる奇岩、岩礁、断崖などの絶景の連続を楽しめた事はこの歩行に参加して良かったと感じている。(甲田)

7. 地図



- スタート、ゴール地点
- 宿泊地点
- 1日の歩行開始・終了地点
- - - 歩行計画ルート
- 実際の歩行ルート



ニュースの連絡と
購読のご用命は
串本支局
〒649-3503
串本町串本2304
成和ビル1F
TEL0735(62)7171
FAX0735(62)6892
坂井新聞 編
串本町串本1865
TEL0735(62)3552
FAX0735(62)0897
西村新聞 編
串本町西町233
TEL0735(72)0043
FAX0735(72)3423
新宮通信部
〒647-0061
新宮市三輪崎1-10-19
TEL0735(31)7174
FAX0735(31)7184

串本港潮位表

満潮	時刻 9:42
	潮位 133
干潮	時刻 23:48
	潮位 114
干潮	時刻 3:49
	潮位 74
満潮	時刻 16:49
	潮位 40

3月13日(金)

南紀熊野の海岸線歩く

首都大学東京
ワンダーフォーゲル部
OBら4人
串本—白浜

首都大学東京(旧東京都立大学)ワンダーフォーゲル部のOBら4人が、10日から串本町を訪れ、海岸線を歩いている。白浜町の白良浜までの約90キロを6日間で歩く計画で、リーダーの横山泰一さん(69)「東京都豊島区」は「南紀熊野は海岸線がきれいで魅力的な場所が多く楽しみ。歩いている途中でできるだけ多くの人と出会い、交流も図れればうれしい」と話している。

同部は創部約60年で、卒業生や現役部員の人数は計約500人。1996年にはOBらでつくる「ユーラシアを歩く会」(約60人)がイギリスのロンドンを出発し、東西ヨーロッパやトルコ、中央アジア、中国、韓国などを徒歩で横断。2011年に東京都の日本橋にゴールした。交代で歩きリレー形式で19カ国約1

てみたいという思いがあったといい、13年11月、三重県熊野市から串本町までを住山さんと歩いており、今回はその続きとなる。

10日は横山さんがJR串本駅からくしもと大橋まで歩き、11日はそろいのTシャツを着た4人がくしもと大橋を出発し、潮岬まで歩いた。12日は和深まで、13日はすさみ町周参見まで、14日は白浜町橋まで歩き、15日に白良浜にゴールする。白浜では、横山さんの3学年先輩で同町在住の高木康成さんと大学時代以来の再会を果たす予定。横山さんは「紀伊半島は海岸線がきれい。所々、熊野古

首長日程

- 13日
- ▽串本町長 トルコ国営テレビ撮影取材
 - ▽古座川町長 町長杯グラウンドゴルフ大会
 - ▽太地町長 議会定例会
 - ▽那智勝浦町長 委員会、課長会
 - ▽新宮市長 議会定例会(一般質問)
 - ▽北山村長 議会定例会



道も歩けるし、おいしい魚や温泉もあり楽しみにしている。気心の知れた仲間が元気に歩いている活動を知ってもうれしい。地域のひととの触れ合いもしたいので、見掛けたら気軽に声を掛けてもらえたらうれしい」と話している。

海岸線を歩く横山泰一さん(右)ら11日、串本町で

「海岸美を堪能」 首都大学東京ワンゲル部OBら白浜到着

おすすめ

シェア

10

ツイート

4

Yahoo!ブックマークに登録



和歌山県串本町を出発し、歩いて白浜町を目指していた首都大学東京(旧東京都立大学)のワンダーフォーゲル部OBら4人が白浜町に到着。16日、リーダーの横山泰一さん(69)＝東京都豊島区＝は「海岸美を存分に楽しむことができた」と笑顔で話した。

横山さんら同部OBでつくる「日本の海岸線を歩く会」の会員約70人が、2013年からグループごとに歩く範囲を決め、それぞれ思い思いのペースで歩いて日本の海岸線一周(約2万6千キロ)を目指している。

横山さんは紀伊半島一周が「担当区域」。13年11月に三重県熊野市をスタートし、既に串本町まで歩いている。

メンバーはほかに住山茂さん(69)＝山梨県北杜市＝、甲田 征三さん(70)＝相模原市＝の同部OB2人と甲田さんの妻みつえさん(62)。

10日に串本町を出発。町内では大島や潮岬を巡ったほか、田並や和深地区の大辺路熊野古道も歩いた。最終目的地の白浜温泉街には15日に到着。16日、白浜温泉の宿泊施設を出て帰途に就いた。

横山さんと住山さんは「大島の海金剛、潮岬の景観美は格別」とにっこり。横山さんは「膝を痛め、距離のある長井坂を歩くことができなかった。国道42号沿いの歩道がもっと整備されているとさらによかった」と話した。

また、「歩いていることが報道され、途中、地元の方に『新聞で見たよ』と声を掛けていただいた。感激し、温かく感じた」と喜んだ。

次に紀州路を歩くのは今秋以降の予定。「志摩半島、紀州路ともあと2回ずつ計画を組む」という。

【紀南の海岸線を歩いた感想を話す横山泰一さん(右)と住山茂さん＝和歌山県白浜町内のホテルで】

注) 紀伊民報ホームページから作成。一部誤字を訂正しています。

「日本の海岸線を歩く会」のご紹介

私たちの会は、首都大学東京(旧東京都立大学)ワンダーフォーゲル部の卒業生および現役部員で構成されており、日本の海岸線約26000kmを歩いてぐるっと一周する計画を立て、2013年4月に東京の日本橋をスタートして現在歩行を続けているところです。

歩き方としては、メンバー各々が部分的に歩いて繋ぎ合わせ、最終的にぐるっと一周する形で繋がることを目指しております。

車などを使わず"歩く"ことにより、そこに住む人々との交流を図り、各地の風土・文化の理解に努め、日本再発見の礎とし、さらに"歩く"という人間の基本的な動作を通して、健康の維持・増進を図ることを目的としております。

我が部は創部以来約60年、卒業生および現役部員の総数は約500名になりますが、一つの目的にそって多くの仲間が集まり、世代を超えて交流出来ることも、大変有意義なことと考えております。

ぐるっと一周が繋がるまで何年掛かるか分かりませんが、歩いている途中で出来るだけ多くの方々と出会い、少しでも交流が図れれば大変嬉しく思います。

首都大学東京ワンダーフォーゲル部
日本の海岸線を歩く会
会長 江守 善昭

1	年月日 : H27.3.12 名前 : 外さき ロッジ"=ジ" 西田 健太郎 地名 : 本洲最南端 串本町 潮山 感想など : 何日 協力 さまことか あれば お申し頂 ければ (お楽しみ とも 又あれば) 何の日 何の日 遠慮なく
2	年月日 : H27.3.13 (3月13日宿泊) 名前 : 串本町 和深 (おじい) 地名 : お宿 えびす 感想など : すばらしい 取り組み ですね。「歩く事」は 健康の源に なるも 思いま。お楽しみ ね。 私も 見習います。 事故 だけは なく!! お楽しみに
3	年月日 : H27.3.14 (3.13日宿泊) 名前 : リンゴ 山 地名 : 和歌山県西牟婁郡白浜町 白浜 感想など : とても 素晴らしい 取り組み ですね。 がんばって下さい!! 貴重 なる 旅に 当館 を ご利用 下さい ありがとうございます。
4	年月日 : H27.3.15 (3.14日宿泊) 名前 : 温泉 民宿 ひらみ 地名 : 和歌山県西牟婁郡白浜町 白浜 感想など : すばらしい こと ですね いつまでも 続けられ ますように お楽しみに
5	年月日 : H27.3.16 名前 : 崎の湯 地名 : 白浜町 166号 感想など : 海岸線 を 歩く こと ですね。 坂道 がある ところ ですね。 その こと ですね。 道中 楽しんで ます。 無事 歩ける こと ですね。 何 日 まで 歩ける こと ですね。

